

2023年11月8日

日清医療食品株式会社
株式会社レボインターナショナル
日揮ホールディングス株式会社
合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

国産SAFのサプライチェーン構築に向けた

「廃食用油の供給および利用に関する基本合意書」を締結

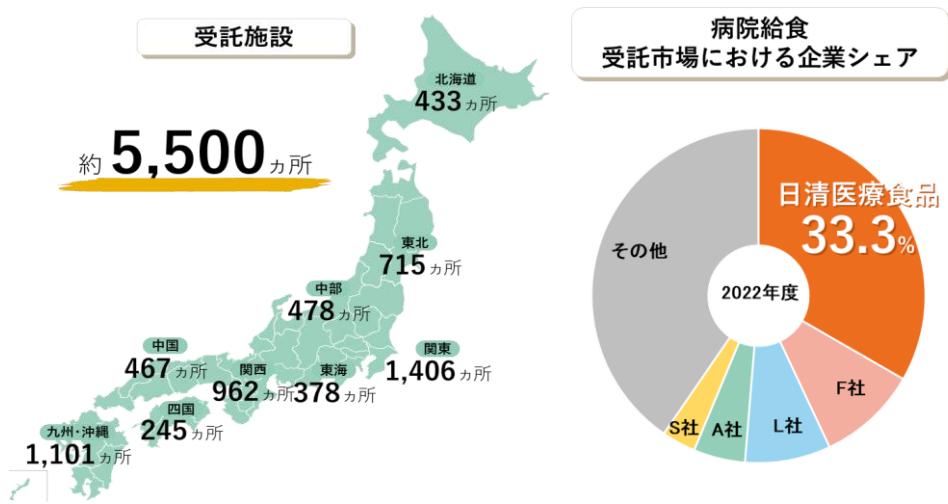
～全国の病院や介護施設 5,500 事業所からの廃食用油を SAF 原料として供給へ～

日清医療食品株式会社(代表取締役社長:立林勝美、以下、日清医療食品)、株式会社レボインターナショナル(代表取締役:越川哲也、以下、レボインターナショナル)、日揮ホールディングス株式会社(代表取締役会長CEO:佐藤雅之、以下、日揮HD)、ならびに合同会社SAFFAIRE SKY ENERGY(代表:秋鹿正敬、以下、サファイア・スカイ・エナジー)の4社は、病院や介護施設の食事提供で使用した油(いわゆる「廃食用油」)をSAF(Sustainable Aviation Fuel:持続可能な航空燃料)として再資源化することを目的に、廃食用油の継続的な供給および利用についての基本合意書を本日付で締結いたしました。

今回の基本合意による各社の役割は以下のとおりです。

- ① 日清医療食品は受託している約 5,500 件の病院や介護施設、保育園等の厨房から出る廃食用油を SAF の原料として供給いたします。日清医療食品の病院給食の受託市場における企業シェアは業界トップの 33%*にのぼり、今回の取り組みによる廃食用油の供給量は年間最大およそ 120 万ℓを見込んでいます。
- ② レボインターナショナルは、全国の日清医療食品受託施設より廃食用油を収集し、サファイア・スカイ・エナジーが運営する SAF 製造装置向けに引き渡します。
- ③ サファイア・スカイ・エナジーは、2024 年度下期～2025 年度初頭の生産開始を目指し、大阪府堺市で建設中の日本初となる国産 SAF の大規模生産プラントにおいて、レボインターナショナルから引き取った廃食用油を原料として SAF の製造を行います。本取り組みによる廃食用油から年間最大約 100 万ℓの SAF 製造を見込んでいます。
- ④ 日揮 HD は、廃食用油を原料とする SAF 製造事業に関するサプライチェーンの全体構築を主導します。本取り組みによる CO2 削減量は年間約 2,700 トンとなります。

*日清医療食品の受託施設数、ならびに病院給食の受託市場における企業シェア(2023 年 7 月「給食受託シェア・カバレッジ状況」)



【日清医療食品が本取り組みの基本合意に至った背景】

日清医療食品は医療インフラを支えている病院給食のリーディングカンパニーとして1日に約130万食を日本全国の病院や介護施設、保育園等に提供しています。今回の基本合意である廃食用油の供給が、今後、広く給食業界全体にも拡がることで、国産SAFの普及や地球環境保全に資する資源循環促進の契機となることを企図しています。

日清医療食品は、ヘルスケアフードのオーナーワン企業として、これまで食を通じて日本の医療福祉サービスの質の向上に貢献してまいりました。この度、レボインターナショナル、日揮HD、サファイア・スカイ・エナジーという全く業態の異なる企業との協創により、日清医療食品単独では達成が難しかった食を通じた脱炭素への貢献が可能となります。今回の取り組みは誰しもが脱炭素に貢献できる可能性を示しており、全国の受託施設やおよそ5万人の日清医療食品社員に対する、SAFを通じた資源循環による脱炭素社会実現の普及・啓発についても、レボインターナショナル、日揮HD、サファイア・スカイ・エナジーと共に実施していく考えです。



【SAFが注目されている理由】

SAF(Sustainable Aviation Fuel)は、廃食用油などを原料とする航空燃料として、従来の航空燃料と比較し二酸化炭素排出量を大幅に削減することが可能なエネルギーです。航空機は自動車などと違い、電気や水素などの燃料では代替しにくいことからSAFの利用によるCO₂排出削減が世界で求められています。

日本では、国土交通省が2030年時点で国内航空会社による燃料使用量の10%をSAFに置き換える目標を掲げており、さらに2050年には、カーボンニュートラルにすることを目指しています。その実現に向けて、政府の「持続可能な航空燃料(SAF)の導入促進に向けた官民協議会」では、エネルギーセキュリティの確保やライフサイクルでの二酸化炭素削減効果の向上の観点から、国産原料の活用が重要である一方、国内で排

出される廃食用油は全体の約 3 割(約 10 万トン強)が海外に輸出されると指摘されており、国内での活用拡大が期待されています。

【国産初の SAF 大規模生産事業の概要】

日揮 HD、レボインターナショナルは、コスモ石油株式会社と共同で国内での廃食用油の収集から SAF の製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2022 年に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立し、国内で発生する廃食用油のみを原料とした年間約 3 万キロリットルの SAF の供給を目指しています。なお、本事業は国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)より採択※を受けた助成事業です。

※NEDO ホームページ:https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html

SUSTAINABLE GOALS



12-5 : 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

12-7 : 国内の政策や優先事項に従って持続可能な公共調達の慣行を促進する。

13-3 : 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

【報道機関の皆さまからのお問い合わせ先】

日清医療食品株式会社

総務本部総務部広報課 [担当:山崎・榎]

電話:03-3287-3619 メール:yamazakit@nifs.co.jp

株式会社 レボインターナショナル 経営戦略室

電話:075-353-2277

日揮ホールディングス株式会社

戦略企画オフィス 経営企画ユニット コーポレートコミュニケーショングループ

電話:045-682-8026

以 上